

## 令和3年度第2回青森市民図書館協議会会議概要

令和3年度第2回青森市民図書館協議会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、書面により開催しました。

- 1 開催日 令和4年3月10日(木)
- 2 参加委員 館下譲治 会長、古澤順子 委員、三上しげ子 委員、伊藤理子 委員、鳴海一成 委員、寺山千晴 委員、中園裕 委員、手塚理香子 委員  
菊池芙美子 委員、鈴木裕子 委員 (10名)
- 3 案件 令和4年度の青森市民図書館運営について
- 4 主な意見等

### 《委員》

蔵書数が減少していることが気がかりだ。

### 《事務局》

この2年ほど、書庫の空きが逼迫してきており、例年より多めに図書を除籍しているが、予算を確保し、購入数は維持していくのでご理解を願いたい。

### 《委員》

市民センター等の図書館本館以外での利用も多いことを知った。身近な場所で貸出できることは高齢者などへの支援になるので、今後も館外貸出に力を注いでほしい。

### 《事務局》

引き続き、各市民センター、移動図書館等での貸出を継続します。

### 《委員》

入館者数が減少していることに驚いたが、図書館の事業を広く市民に周知することにより増えていくと思う。

### 《事務局》

今後も、広報あおもり、ホームページ、フェイスブック等による周知に努めてまいります。

### 《委員》

雑誌スポンサー制度について、スポンサー数、雑誌数ともに減少している。個人への呼びかけを考えてはどうか。

### 《事務局》

雑誌スポンサー制度は、雑誌を広告媒体として活用することにより、民間事業者等に情報発信の場を提供すること、雑誌を継続的に確保することを目的としている。そのため、個人にスポンサーになっていただくことは考えておりませんのでご理解願います。

### 《委員》

令和4年度展示事業の「平和について考えよう」が印象に残った。戦争のニュースを目にすることが多いが、子どもたちには夢のある本を読ませたい。

平和と戦争について考えることも必要かもしれないが、子どもたちには心がときめくような本に触れてほしい。

### 《事務局》

今後の参考にさせていただきたい。

### 《委員》

委員から、図書館運営の参考になる提言、資料提供を積極的に求めるべき。

個人で図書館に関わっている方が県内にいる。そういう人たちと市民図書館とが連携できればお互いに有益である。

協議会委員に読み聞かせに関わる方々がいる。私的な関係でつながっている人たちと市民図書館が連携すれば双方の利益になる。その橋渡しを協議会が取り持つとよい。

### 《事務局》

協議会の開催意義を踏まえ、実り多い協議会となるよう運営方法等について検討してまいります。

### 《委員》

コロナ禍の下、スーパーマーケット、コンビニエンスストア、市役所等の窓口なども感染対策をして業務を続けていた。

図書館も窓口対応を残して、貸出は続けてもいいと思う。地域の市民センター等でも貸出・返却は従来通りであることを更に周知することで利用を続行できたと思う。

### 《事務局》

令和4年1月の「青森市危機対策本部会議」において、市有施設等の原則休館の指示があり、臨時休館いたしました。一定の感染防止対策を講じても、不特定多数の方々が集まる場合、感染の恐れなしとは言えないことからやむを得ず上記の処置を取りましたのでご理解願います。